



Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

大阪府枚方市 よっちゃんさん

今年2月を迎え、主人が亡くなって早10年になります。

当時、幼稚園年長と年中、生後5ヵ月だった3人の息子も高1、中3、小4になり、特に上2人はあっという間に私を追い越し、180cmの大きな2つの壁のように、家の中でも存在感と逞しい安心感を与えてくれるように成長し、たのもしい限りです。

それも、基金をはじめ、様々に応援をいただいてここまでこれたのだと感謝の思いでいっぱいです。次の10年めざして、元気に頑張りたいと思っています。

愛知県西尾市 K・Aさん / K・Yさん

♥娘さんより

父が亡くなって13年経ちました。

時にはつらい事もありましたが、家族3人(母・兄・私)で助け合って生きてきました。私はもうすぐ成人を迎えますが、何一つ不自由なく生きてこれたのは周りの人たち、そして何より家族の支えのおかげです。これからも家族を大切にしていきたいです。

今まで本当にありがとうございました。給付金と図書カード、大切にに使わせていただきます。

♥お母様より

育成基金さんには大変長い間お世話になりました。

長女、長男共に成長し、私の良き理解者になってくれています。経済不景気ではありますが、自分の望む仕事を見つけて努力し人生を歩んで欲しいと願っています。

兵庫県多紀郡 M・Kさん

長男の給付完了のお知らせが届いたのが3月21日春分の日、丁度主人のお墓参りに行こうとしていた日でした。平成7年1月の阪神淡路大震災の年、設備工事会社に勤務していた主人は災害直後はもちろんのこと、その後も交代で神戸へと復興作業に行って、6月29日、工作中に事故にあい亡くなりました。31歳でした。長男4歳、次男2歳、三男はまだお腹の中にいる時でした。あの震災さえなければ！直接ではないけれど、災害の犠牲者でありました。

あれから15年長男は今、県立農業大学校で学んでおり、この4月からは就職活動に入ります。基金のおかげで学費の心配をせずにすみ、本当に楽しく学生生活を過ごしています。お世話になりました。

また2月には兄弟そろってFM大阪SDDライブに参加させていただき、すばらしい思い出もできたようでした。

次男は高校3年生、三男は中学3年生となる今年、三人ともが次の進路を決定する大事な年となります。基金に加入してよかったとしみじみ思う年でもあり、もうしばらく頼りにさせていただきます。ヨロシク!!



兵庫県三木市

K・Aさん

この春、二人の息子がそれぞれ我が家を旅立っていきました。長男は一浪の末、希望の大学に合格して京都でひとり暮らし、次男は野球を真剣にやりたいと言って寮生活です。

私は生れて初めてのひとり暮らしです。覚悟はしていたので“淋しさ”というのはいりませんが、なんと時間の余裕があること。朝は自分の仕事に間に合うように起きればよいし、夜も好きな時間に床につくことができます。ひとり分の食事を作るのはなかなかむずかしいです。つつい多く作りすぎます。

せっかく自分の時間がたっぷりできたのです。上手に暮らしていけるよう、年をとっても健康でいれるよう、工夫していききたいと思う今日のごろです。



京都府城陽市

N・Mさん

長い間、お世話になり続け、ありがとうございます。もうすぐ18年になりますが、当時3歳、1歳、お腹の中にいた子供も、21歳、19歳、17歳になり健康で学校やバイト、就職活動に頑張っております。子育てにはひと言で言えない苦労や悩みがありました。成長と共に、これからは進学、就職を乗り越え、平凡で良いので自分の進みたい道に進んでくれることを陰ながら応援しています。

先日、娘が19歳を迎え、今までの感謝を感じておりました。末の子がもうしばらくお世話になりますが、どうかよろしくお願い致します。

福島県郡山市

W・Mさん

長い間、基金様には心の支えとなっただき、ありがとうございます。同世代の子は、進学や就職ができる年齢ですが、知的障害者のため、それはできません。しかし、本人なりに施設に通いながら、学んだり、楽しんだりしているようです。夫の尊い命とひきかえになってしまったお金は、親亡き後に子どもに還元できるように、自分はずらくても仕事をがんばらなくては、と思っています。

東京都中央区

さんちゃんさん

私の悩みにたくさんの返信、アドバイス、本当にありがとうございます。親身に相談のってくださる心強い“ささえ”があることでこの先も頑張ろうと思います。泣けるほど嬉しかった皆さんのやさしさに、今後また何かあったら、頼らせていただけたら…と思っているのですが、よろしいでしょうか？

今回の事では、義母からもしばらく連絡は無かったのですが、息子の誕生日に何事も無かった様にやって来ました。時間もたつたので私も知らぬふりで通すことに。亡夫の想い、義母の考え方、息子の将来と、色々な事をいちどに考えないで、私の信じる道を選んで行こうと思います。シンプルに、息子の育児を楽しんで、時がたてばそれで良いかなど、今はそうして頑張っています。無事1歳になり、まずは自分をほめてあげたいです。

…【基金事務局より】…

いつも基金へのお便り、ありがとうございます。さて、学生のみなさんにとっては待ちに待った夏休みが始まりますね。お休み中も、たくさん遊んで、たくさん勉強しましょう。さて、今号では恒例の映画券プレゼントを実施しています。夏休みの思い出作りのひとつとして、ご家族とぜひ映画鑑賞にお出かけになってください。当選の結果を楽しみにしていただいね!